

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニチリヨク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

TEL 03-3396-3052

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,590	8.6	△28	—	△74	—	△58	—
24年3月期第2四半期	1,464	△20.9	△102	—	△138	—	△96	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△4.57	—
24年3月期第2四半期	△7.41	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
25年3月期第2四半期	10,229	—	3,453	—	33.8	274.43	—	
24年3月期	10,217	—	3,644	—	35.7	285.07	—	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,453百万円 24年3月期 3,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	7.2	300	57.7	200	47.5	110	87.6	8.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	13,741,014 株	24年3月期	13,741,014 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,156,086 株	24年3月期	956,086 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,684,567 株	24年3月期2Q	13,066,318 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要等により国内景気並びに企業収益は緩やかながら回復基調にあるものの、新興国の成長鈍化や欧州政府債権危機による世界景気の下振れ、金融資本市場の変動が景気を下押しするリスクとなっており、景況感の明確な改善には至らず、個人消費は依然低調に推移しており、先行きが不透明な状況となっております。

当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、お墓事業におきましては、景気低迷による購買意欲の減退に伴う霊園への来園顧客数の減少傾向にあります。葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し、顧客単価下落という厳しい状況にあるものの、家族葬を中心としたラステル葬儀が顧客からの支持を受け、葬儀売上に貢献した結果、当社の売上は前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高15億9千万円（前年同四半期比8.6%増）、営業損失2千8百万円（前年同四半期営業損失1億2百万円）、経常損失7千4百万円（前年同四半期経常損失1億3千8百万円）、四半期純損失5千8百万円（前年同四半期純損失9千6百万円）となりました。

## 各セグメントの状況

## &lt;霊園事業&gt;

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を納める共有墓の募集等を進めましたが、売上高は7億3千9百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

## &lt;堂内陵墓事業&gt;

堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市千種区）」は、計画通り順調な販売実績をあげております。売上高は3億2百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

## &lt;葬祭事業&gt;

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり施行単価が下落しております。一方、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の葬儀施行の形態を変革することを目的として、一昨年6月に「ラステル久保山（横浜市西区）」を開業いたしました。当初計画と比較して顧客の家族葬・直葬のニーズは高く、葬儀施行件数は順調に推移しております。また、本年6月、ラステル第二号として「ラステル新横浜（横浜市港北区）」を開業いたしました。抜群の立地と設備を兼ね備えており、予想を大幅に上回るスタートを切ることが出来ました。当社独自のビジネスモデル「ラステル」は、今後の葬儀部門の売上に貢献してくるものと確信を一層深めております。売上高は5億4千9百万円（前年同四半期比20.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、102億2千9百万円となり、前事業年度末に比べ1千1百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、6億3千8百万円減少し、31億4千7百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金5億5千万円及び永代使用権8千8百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、6億4千9百万円増加し、70億8千2百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金6億6千9百万円の増加、長期貸付金1億5千8百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、2億3千2百万円減少し、33億4千3百万円となりました。その主な要因は、短期借入金1億6百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金9千7百万円、未払金8千6百万円及び未払法人税等8千万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、4億3千4百万円増加し、34億3千1百万円となりました。その主な要因は、長期借入金3億9千5百万円及び社債4千1百万円の増加によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億9千万円減少し、34億5千3百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億5千3百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に霊園開発協力金の支出及び有形固定資産の取得による減少があり、前事業年度末に比べ、5億9千4百万円減少し、当第2四半期会計期間末は11億8千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は、4千7百万円（前年同四半期は3億9千7百万円の獲得）となりました。これは主として、営業収支による獲得（1億8千4百万円）と法人税等の支払額（8千3百万円）によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は、9億1千4百万円（前年同期は6億6千1百万円の使用）となりました。これは主として、霊園開発協力金（6億5千1百万円）及び有形固定資産の取得（2億8千4百万円）の支出と、貸付金の回収（2億1千5百万円）によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は、2億7千2百万円（前年同期は3億6千2百万円の獲得）となりました。これは主として、長期借入金の純増による収入額（2億9千4百万円）によるものです。

（3）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点、平成24年5月11日に公表いたしました通期の業績予想からの修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,391,890	1,841,697
完成工事未収入金	103,277	60,642
売掛金	111,903	102,854
永代使用権	630,272	541,429
未成工事支出金	305,635	280,049
原材料及び貯蔵品	75,929	104,894
その他	166,733	215,710
貸倒引当金	△29	△24
流動資産合計	3,785,611	3,147,253
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	477,284	1,118,705
土地	1,136,101	1,451,703
その他(純額)	1,079,831	217,618
有形固定資産合計	2,693,217	2,788,027
無形固定資産	115,098	76,344
投資その他の資産		
長期貸付金	355,725	197,559
壺園開発協力金	1,196,546	1,866,476
その他	2,117,309	2,196,289
貸倒引当金	△45,723	△42,638
投資その他の資産合計	3,623,857	4,217,687
固定資産合計	6,432,174	7,082,058
資産合計	10,217,786	10,229,312
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	69,303	58,229
短期借入金	524,402	630,603
1年内返済予定の長期借入金	1,802,354	1,705,194
1年内償還予定の社債	398,000	366,000
未払法人税等	87,885	7,741
賞与引当金	28,500	22,100
その他	665,639	553,977
流動負債合計	3,576,085	3,343,845
固定負債		
社債	333,000	374,000
長期借入金	2,288,651	2,683,984
退職給付引当金	235,816	226,757
役員退職慰労引当金	139,398	146,726
その他	300	300
固定負債合計	2,997,165	3,431,767
負債合計	6,573,250	6,775,613

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,577,852	1,423,945
自己株式	△172,964	△209,247
株主資本合計	3,669,812	3,479,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,353	△10,194
繰延ヘッジ損益	△13,924	△15,729
評価・換算差額等合計	△25,277	△25,923
純資産合計	3,644,535	3,453,699
負債純資産合計	10,217,786	10,229,312

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,464,696	1,590,153
売上原価	520,003	549,218
売上総利益	944,693	1,040,935
販売費及び一般管理費	1,046,914	1,068,967
営業損失(△)	△102,221	△28,032
営業外収益		
受取利息	9,311	3,367
受取配当金	5,644	5,644
業務受託手数料	—	8,571
違約金収入	8,840	—
その他	18,801	19,583
営業外収益合計	42,596	37,166
営業外費用		
支払利息	53,494	60,999
シンジケートローン手数料	15,000	—
その他	10,005	22,447
営業外費用合計	78,499	83,446
経常損失(△)	△138,124	△74,313
特別利益		
固定資産売却益	523	—
特別利益合計	523	—
特別損失		
固定資産除却損	23	5,621
特別損失合計	23	5,621
税引前四半期純損失(△)	△137,624	△79,934
法人税、住民税及び事業税	4,273	4,179
法人税等調整額	△45,052	△26,093
法人税等合計	△40,778	△21,914
四半期純損失(△)	△96,845	△58,020



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
営業収入	1,698,531	1,680,959
原材料又は商品の仕入れによる支出	△404,803	△433,784
人件費の支出	△486,660	△499,303
その他の営業支出	△506,248	△563,190
小計	300,819	184,680
利息及び配当金の受取額	14,889	7,902
利息の支払額	△56,040	△61,405
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	137,424	△83,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,093	47,845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,062	△64,037
定期預金の払戻による収入	34,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△655,335	△284,034
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△5,983
出資金の回収による収入	10	—
貸付けによる支出	△46,000	△64,100
貸付金の回収による収入	203,591	215,766
霊園開発協力金の支出	△207,023	△651,152
霊園開発協力金の回収	70,444	—
差入保証金の差入による支出	△132,068	△176,078
差入保証金の回収による収入	104,090	97,609
その他	△5,087	△2,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661,441	△914,133
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,261,000	695,000
短期借入金の返済による支出	△1,169,000	△588,799
長期借入れによる収入	1,508,257	1,176,499
長期借入金の返済による支出	△999,310	△881,827
社債の発行による収入	98,290	196,302
社債の償還による支出	△215,000	△191,000
自己株式の取得による支出	△23,540	△36,663
配当金の支払額	△97,984	△95,777
その他	—	△1,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,712	272,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	98,364	△594,231
現金及び現金同等物の期首残高	1,021,417	1,778,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,782	1,183,783

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。